

18 口羽竜二さんより(阪急の新出版物紹介)

「ご無沙汰いたしております。今年もはや7月ですがお元気のことと存じます。ご存じかもしれませんが、今年には阪急の開業100周年ということ、(株)阪急コミュニケーションズから記念出版がありました。表題は「HANKYU MAROON WORLD 阪急電車のすべて 2010」というもので、開業から現在に至る全車両の写真が収録されている、ぼくらには貴重な文献で、編集にはOBも参加しています。

この本は書店に取り寄せを依頼するか、阪急阪神HDのホームページから購入することが出来ます(DVD付二、五〇〇円)。

<http://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

20 浅野倉平さんからのメールによると北千里・淡路・梅田等の主要駅のサービスセンターで売っているそうです。やはり阪急沿線在住者は得ですね。(編集部注)

最近の大きな変化というと、6300系は嵐山線に転用の4連(組み換え)3編成を残して廃車、代わりの9300系はすでに11編成が出場しています。製造はア

ルナ工機から日立製作所に変更しました。

電車とは関係ありませんが、淡路駅の東側一帯で立ち退きが進んでいます。調べてみると大阪市の区画整理事業です。大阪市のHPにも出ていますが、駅との関係がどうなるかはよくわかりません。個人的な想像ですが、最近多い橋上駅舎ができるかもしれません。

JRとは乗客の奪い合いが激しいですが、その影響で東向日、桂間にはすでに洛西口があり、今年には正雀、南茨木間に摂津市駅が開業しました。

とりとめの話になりましたが、時代の流れを否応なく感じさせられる昨今です。以上とりあえずお知らせまで。 口羽竜二

追伸 言い忘れましたが、もうひとつおもしろそうな本があります。週刊東洋経済の臨時増刊で「鉄道完全解明」というのが出ています。

まだ読んでいませんが、内容は、電車のデザインはどのように行なわれるのかというルポ記事に始まり、日本と世界の鉄道事情をジャーナリストの眼で詳しく伝えていくようです。時間のあるときにゆっくり読むつもりです。